

# G-5150 センサー時代 ギガ

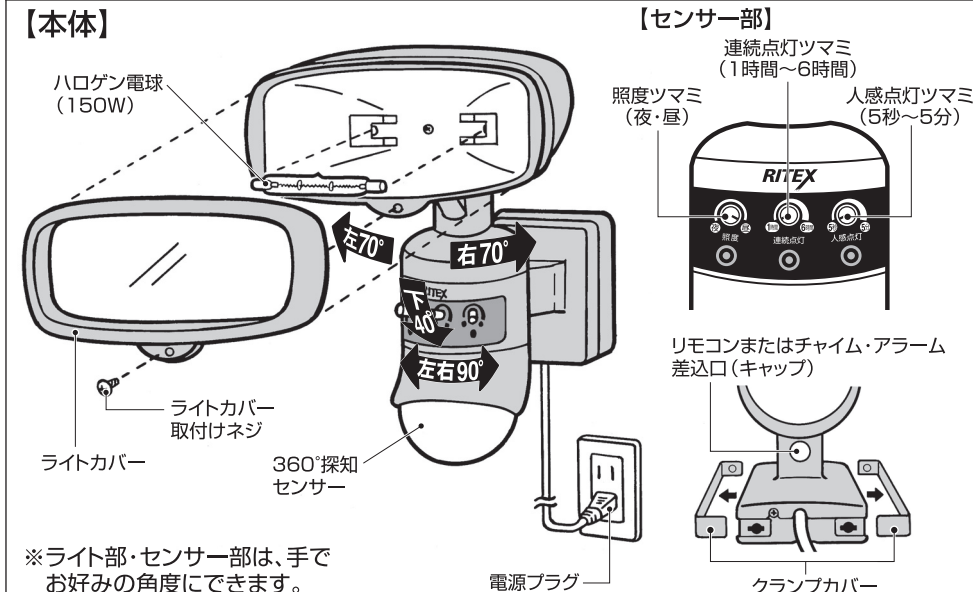
## 360°センサー-G

ハロゲン150W

### 取扱説明書

この度は、ライテックスのセンサーライトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をよく読んでください。

## 1. 部位説明



- ※ライト部・センサー部は、手でお好みの角度にできます。
- ハロゲン電球の取付け方**  
 ●ライトカバー取付けネジを緩め外し、ハロゲン電球を差込み、ライトカバーを上側のピンに引っかけて取付けネジで取付けてください。  
 ※ハロゲン電球は手袋か布を使って素手で触れないでください。
- 【付属品】**  
 リモコン用プラスチック製プラグ  
 リモコン用取付けネジ  
 リモコン (リチウム電池付)  
 クランプ台  
 本体用取付けネジ  
 本体用プラスチック製プラグ  
 ハロゲン電球 (150W)  
 探知角度調整チップ  
 両面テープ  
 プラグ  
 L型ボルト  
 蝶ナット  
 ネジキャップ

## 2. 警告

- 電源はコンセントから取ってください。  
 ●屋外のコンセントは防水型を使用してください。  
 ●電線と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取付けてください。  
 ※電球を取替える時や漏電、停電後の再調節で電源を切る必要があるためです。
- 電球を取替える時は  
 ●電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れているので、突然ライトが付くと危険です。必ずコンセントからプラグを抜いてから取替えてください。
- 取付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。  
 ●ライト部、特に透明ガラス部は高温になります。燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。  
 ●屋でも本体に物(布団や布等)を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。
- 火傷に注意してください。  
 ●点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。
- 屋外に取付ける場合は  
 ●本機は防雨構造です。通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けしないでください。  
 ※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。
- 屋内・屋外に関係なく逆さまに取付けしないでください。
- 本機を改造しないでください。
- 電波を出す器具の近くには取付けしないでください。  
 ●電波を出す器具や本機が誤動作する場合があります。

※本機は探知範囲内に侵入する物(人・車等)に対して注意を促しますが、盗難や犯罪が発生しても一切の責任は負いません。  
 ※製品改良のため、仕様および外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



## 3. クランプで挟む取付け方

▲注意 クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

上向き、柱、パイプの場合		横向きの柱、丸パイプへの場合	
<p>① 対角にL型ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトをAの向きにCの位置まで差込み、Bの向きに90°倒します。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトを柱、パイプの間で、クランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。</li> </ul>	<p>① 対角にL型ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトをAの向きにCの位置まで差込み、Bの向きに90°倒します。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトを柱、パイプの間で、クランプ台を対角の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。</li> </ul>		
壁の横端の場合		壁の上端の場合	
<p>① 平行にL型ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトをAの向きにCの位置まで差込み、Bの向きに90°倒します。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトを壁の横端に挟み、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。</li> </ul>	<p>① 平行にL型ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトをAの向きにCの位置まで差込み、Bの向きに90°倒します。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>L型ボルトを壁の上端に挟み、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。</li> </ul>		

## 4. ブラケットで壁に直接の取付け方

- ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを開き外します。
- 壁等にブラケットの穴に通し、印を付けます。(アルミ板、薄鉄板の場合) 印に電気ドリル等でφ3.3mmの穴を開けます。(木はφ3mm)

●付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
- (コンクリートの壁の場合)

●振動電気ドリル等でφ6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。

●付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
- 本体をブラケットの上の爪を差込み取付け、ブラケットを固定させます。

## 5. リモコンの取付け方

ネジ止めの場合	テープ止めの場合
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本体のリモコン、チャイム・アラーム差込口のキャップを外します。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンのプラグを奥まで差込みます。コードの届く範囲にリモコンを取付けます。</li> </ul> <p>●マイナスドライバー等を差込んで開けます。              ※左右どちらの差込口からでも開けられます。</p>	<p>●裏フタを付属のリモコン用取付けネジで取付けます。              “4.ブラケットで壁に直接の取付け方”の③を参照。</p> <p>●付属の両面テープで壁等に取付けます。</p>

## 6. 人感モードのセンサー動作テスト

(“9.3つのマイコン機能の説明とモード設定”を参照)

<ul style="list-style-type: none"> <li>照度ツマミを <b>昼</b> に回す</li> <li>人感点灯ツマミを <b>5秒</b> に回す</li> </ul>	<p>●電源を入れる</p> <p>●センサー探知範囲に入り、すぐに出る</p> <p>点灯→消灯</p> <p>約5秒後に消灯</p>
---	--

※その間約20~30秒ライトは点灯しません

## 7. センサーライトの探知範囲

■センサーは、最長約前方8m/後方1.5m/左右3m×360°の範囲で動く人や車を探知します。

図1 <焦点型赤外線センサーの探知距離>

- 取付け高さは最高3mまでです。
- 取付け高さを1.25mにすると探知範囲は、図の半分になります。

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1の条件に合う場所に取付けてください。  
 ※夏場は周囲の温度が高く、人から得る体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

■探知角度の調節

◆探知したい場所へセンサーを向けてください。

◆探知角度を狭くしたい時は、付属の探知角度調整チップを図2のようにセンサーレンズに差込みます。

## 8. 取付け前の注意

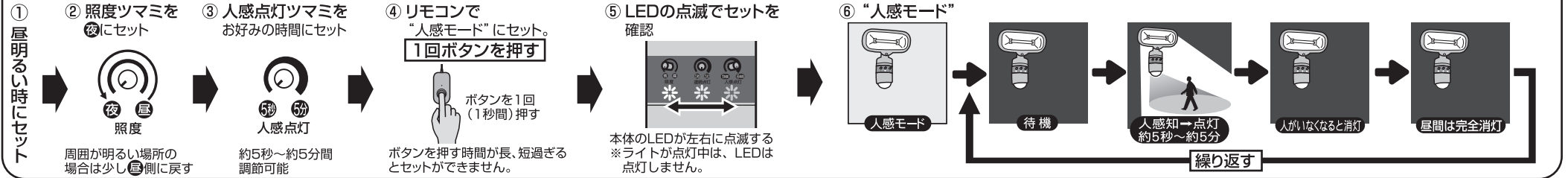
※センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図の場所に取付けると誤動作や、動作しない時があります。

<p>風などでゆれる植物やカーテン等の近く</p>	<p>エアコン等の送風を受ける所</p>	<p>大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける所</p>	<p>ガラスや壁ごしの所</p>
<p>強い振動を受ける所</p>	<p>車の通る道路に面した所</p>	<p>電波の強い所</p>	<p>取付け高さが5M以上の所</p>

## 9. 3つのマイコン機能の説明とモード設定

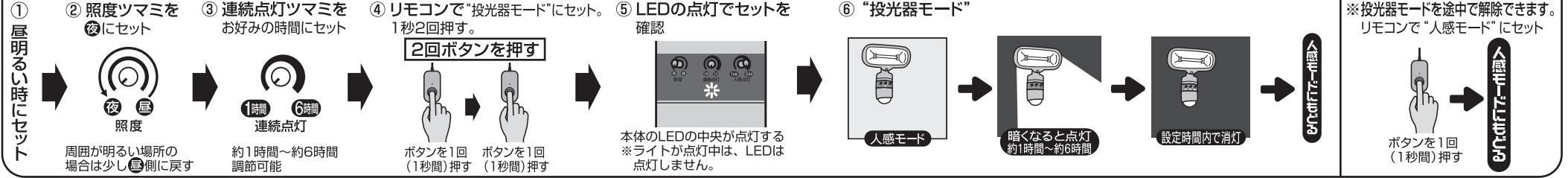
●Gシリーズは便利な3つの機能の“人感モード”と“投光器モード”と“外灯モード”があります。

**1. 人感モード** \*夜(暗い)時になると人や動く物を感知しセットした時間(約5秒~約5分)自動点灯・自動消灯します。\*リモコンまたはチャイム・アラームを本体に取付けない場合は常に“人感モード”になります。



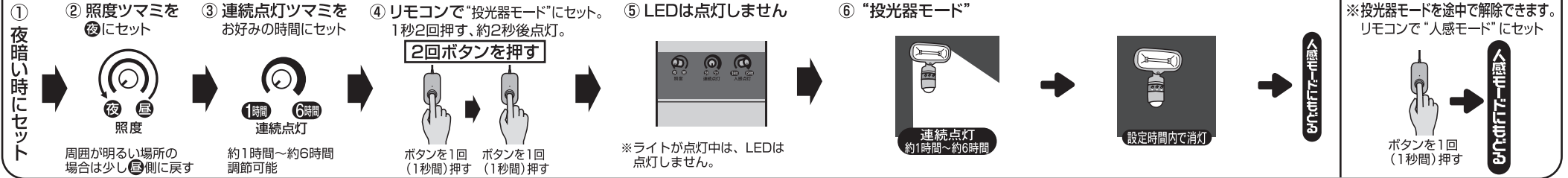
△注意 ※②の照度ツマミを夜側にセットすると夜も昼も点灯させることができます。\*センサーの感知範囲にいつまでもいると点灯時間が延長されて消灯しません。

**2. 投光器モード** \*昼(明るい)時にセットし、夜(暗い)時になるとセットした時間(約1時間~約6時間)自動点灯・自動消灯し、そして“人感モード”に戻ります。



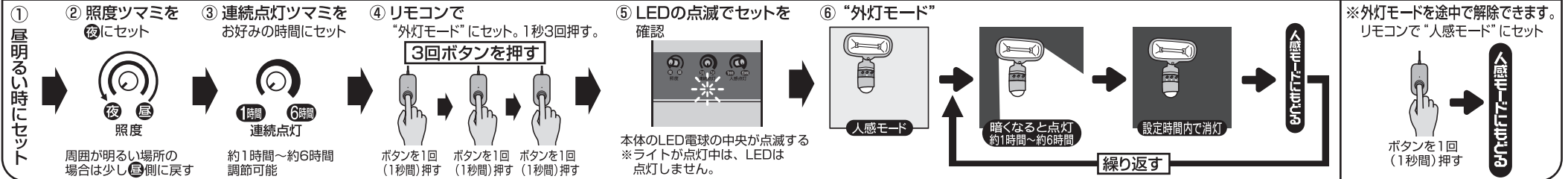
※投光器モードが終了すると自動的に人感モードに切り替わりますので再度投光器モードを使用する場合はいったん人感モードに切り替えてから投光器モードに切り替えてください。

**3. 投光器モード** \*夜(暗い)時にセットすると直ちに点灯しセットした時間(約1時間~約6時間)自動点灯・自動消灯し、そして“人感モード”に戻ります。



※投光器モードが終了すると自動的に人感モードに切り替わりますので再度投光器モードを使用する場合はいったん人感モードに切り替えてから投光器モードに切り替えてください。

**4. 外灯モード** \*夜(暗い)時になるとセットした時間(約1時間~約6時間)自動点灯・自動消灯し、そして“人感モード”に戻ります。これを毎昼夜繰り返します。



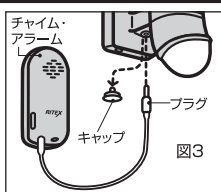
△注意 ※②照度ツマミ：夜でも本機に街灯など光が当たる場合は照度ツマミを夜側に、点灯するまで戻してください。 ※③人感点灯ツマミ/連続点灯ツマミ：ツマミ角度は時間とは比例しません。 ※リモコンのボタンを押す場合、ボタンを1回(1秒間)ごとしっかりと押してください。

## 10. リモコン電池の交換方法



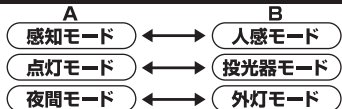
## 11. G-5350 チャイム・アラーム(別売)の取付け方

- 別売りのG-5350 チャイム・アラームを接続すると、本機のセンサーが感知して、自動的にチャイム・アラームを鳴らすことができます。
- 人感モード/投光器モード/外灯モードの3モード切替ができます。(但し、同時に付属のリモコンを使うことはできません。)
- ドアチャイム機能、チャイム・アラーム機能が付いています。
- チャイム・アラームは別回路を設けておきますので、ライトの点灯に関係なく鳴らすことができます。
- リモコンまたはチャイム・アラーム差込口のキャップを外しチャイム・アラームのプラグを差込みます。(図3) ※コードの延長は勧められません。誤動作の原因になります。



## 12. チャイム・アラーム(別売)のご購入の際の注意

- チャイム・アラームをご購入の際、3モードの名称が右記Aの場合とBの場合がありますが、それぞれ同様の意味です。



## 13. 替電球のお買い求めについて

- 替球は、本機をお買い上げの販売店へご注文してください。尚、入手困難な場合は、直接(株)プロトにご注文いただければお送り致します。
- SA-151替球(ハロゲン球150W)は、¥1,400(消費税・送料込み)但し、代金は前金でお願い致します。郵便切手でも結構です。

## 14. 仕様

電圧	AC 100V
消費電流	150W(待機時1.5W)
適用電球	ハロゲン電球150W(100-110V 150W R7s)
センサー感知方式	焦電型赤外線センサー
センサー感知範囲	360°・前方8m/後方1.5m/左右3m
3モード切替え	人感モード/投光器モード/外灯モード
人感モードの点灯保持時間	約5秒~約5分
投光器モード・外灯モードの点灯保持時間	約1時間~約6時間
電源コードの長さ	6m
リモコンコードの長さ	2m
リモコン電池	3Vリチウム2032
本体サイズ	幅160mm×奥210mm×高さ230mm クランプ除く
クランプ取付けサイズ	厚110mm最大
チャイム・アラーム	チャイム・アラーム出力端子 ※別売G-5350チャイム・アラーム対応
設置場所	屋内・屋外用(防雨タイプ)

## 15. 故障かなと思った時

現象	考えられる原因	処置
点灯しない 感知範囲に人がいるのに点灯しない	ライトに電源が入っていない	電源プラグが抜けていないか確認する(家庭用コンセントに差す)
	センサー感知範囲の設定が適切でない 本機に向かって真つすぐ接近している	感知範囲を調節する(センサーを感知させたい方向に向ける)
	センサー感知部(センサーレンズ)が汚れている、蒸気や雨などの水滴が付いている	感知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭き取る
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われている、手袋をしている 雨の日に傘で顔や手が隠れている	本センサーは人の動きによる温度変化分を感知するため左記の場合感知しにくい場合があります
点灯しない 本体(センサー内部)からカチカチ音がする	電球が切れている	電球を交換する
	電球を正しく取付けていない	電球を正しく取付ける
点灯しない 周囲が暗いのに感知範囲に人がいても点灯しない	感知部に他の照明器具の光が入っている	照度ツマミを夜側に点灯するまで回す “6. 人感モードのセンサー動作テスト”参照
消灯しない	“投光器モード”もしくは“外灯モード”になっている	“人感モード”にセットする。 “9.3つのマイコン機能の説明とモード設定”参照
	人感点灯ツマミが5分側に調節されている	人感点灯ツマミを5分側に合わせる “6. 人感モードのセンサー動作テスト”参照
	感知範囲内に人がいる時間が延長され消灯しない	感知範囲外に移動する
	回路が異常(エラー)している	電源プラグを抜き2分後再び差す(リセットして回路を正常に戻す)
昼なのに点灯する 周囲が明るいのに	照度ツマミが昼側に調節されている	照度ツマミを夜側に合わせる “9.3つのマイコン機能の説明とモード設定”参照
感知範囲に人がいないのに点灯する	“投光器モード”もしくは“外灯モード”になっている	“人感モード”にセットする “9.3つのマイコン機能の説明とモード設定”参照
	感知範囲内に誤動作源がある(例)・他の照明器具・エアコンの吹出口・犬や猫などが動いている・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等)・車の熱やヘッドライト・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除く(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する) 感知範囲を規制する “7. センサーライトの感知範囲”参照
	“8. 取付け前の注意”参照 感知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを感知している	
感知範囲に人がいるのに消灯する	ライトがセンサー部をさざぎっている	ライトをセンサーから離す
	電源を投入した直後(停電直後)	感知時間の経過後、消灯することを確認する “6. 人感モードのセンサー動作テスト”参照
	人感点灯ツマミが5分側に調節されている 感知範囲内で人が静止している	感知時間ツマミを好みの時間に設定する “6. 人感モードのセンサー動作テスト”参照 本センサーは静止している人には性能上感知できません